

体育会系勉強部上級キャリアコースの内実：誰に向いている？

経済学部経済学科 寺田光希
(京都府立 東宇治高等学校出身)

高校までは、12年間バスケットボール部に所属していました。大学では、将来のことを考え、部活動の代わりに勉強や就活に情熱を傾けたいとは思っていたのですが、バスケばかりやっていたのでどうすればよいのかよくわかりません。そんなときにみつけた、大阪産業大学・経済学部のHPによると、上級キャリアコースは“体育会系勉強部”のようだといいます。実際、コースの学生のほとんどは、高校までは運動部に所属していたが、大学では勉強に打ち込みたいと考えている上に、あたかも部活動に取り組むようなやり方で学業・就活の両方で上位校とまったく遜色のない成果を残しているとのこと。居場所を見つけた思いであった私は、直ちにコースへの参加を決めました。

実際、コースに入ってみると、私と同じような境遇の人が多くすぐに仲良くなれました。勉強では、何度も苦しむ場面はありましたが、同じ志・助け合いの精神を持つチームメイトが常に共にあり、テストや資格取得を乗り越えることが出来ました。就職についても、入学時には思いもよらなかった企業から、複数の内定を得ることができました。コースの先生については、講義中のみならず普段のやり取りからも厳しいと感じることは多かったです。すべて私たちの将来を思って指導してくださっているということはありませんと伝わってきました。体育会系の部活動をやっていた人なら、この点は感覚的にすぐに気づくと思います。決して、単なる怖い人ではないです(笑)。もしそうだとすれば、誰もついて行かなかったでしょうし、長年に亘り高い成果を維持することはできなかったでしょう。

以上にくわえ、上級キャリアコースの他の追従を許さない圧倒的アドバンテージとして、先輩・後輩の縦のつながりの強さが指摘できます。複数の学年が同時に参加する課外特別講義や合宿など、縦のつながりを強化するイベントはたくさんあるのですが、これらの場では既に高い成果を上げている先輩たちから、勉強方法や就活について親しく話を聞くことができますし、連絡先を交換することによって今後の支援を手に入れることさえ可能です。つまり、上級キャリアコースにいれば、すぐ身近に成功者がおり支援してくれるということになります。しかも、高校以前の境遇は先輩も後輩も似たようなものですので、後輩の立場をわかった上でのアドバイスが期待できます。

私は、このコースに入ってから人生が大きく好転したと心から思っています。それゆえ、確信を持ってお勧めできます。ただし、体育会系であれば問題ないとはいいません。それにくわえて、勉強で成果を残し、よりよい将来を実現するという初志を貫徹できる精神力・行動力が必要になります。本当に大丈夫ですか？ 他の人がたくさん書いているので、あまり触れませんが、非常に厳しいコースであるということは十二分に理解しておいてください。入った後では手遅れです。